

令和3年度

# 大松小学校 「学力向上実行プラン」

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びを実現する子どもの育成

## 学力向上検討委員会構成

校長

佐川 知徳



【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取り組み状況の把握を行う。

### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題に対して一生懸命取り組む児童が多い。どの学年も当該学年の学力を平均的に身に付けている。 ●量と測定や図形について、知識理解が十分でない。文章を読みとる力が弱く、長文問題に苦手意識をもっている。	基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。	①「学びなび」を活用し、板書・ノート指導を充実させる。 ②速音読を全学年実施する。 ③具体物を操作させながら定義や意味・言葉などを繰り返し指導する。 ④習熟度に合わせたスキル学習を実施する。			

### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業中や学級会で自分の考えを伝えることができる。 ●自分の意見に自信を持ち、根拠や理由を明らかにして文章や発言で表現することに課題がある。	①相手や目的を意識して、根拠や理由を明らかにしたり、自分の考えと友達の考えを比べたりしながら発言や文章で豊かに表現することができる。	①学習活動の中で、友達と意見を交流する活動(ペア活動等)を意図的に取り入れる。 ②自分の考えを文章に書く・表現する機会を意図的に設ける。 ③「学びなび」を活用させる。			

### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業や家庭学習に真面目に取り組む児童が多い。 ●進んで課題を見付けることに課題がある。	自ら課題を見付け、課題や自主学習に積極的に取り組み、自信をもつことができる。	①児童の主体的な体験や活動を取り入れた授業を展開する。 ②「家庭学習の手引き」を活用できるよう、適宜指導するとともに、学校便りや学年便りを通じて家庭との連携を大切に、家庭学習の充実を図る。			

## 令和3年度 学力向上ロードマップ

